

事務事業名		延長保育促進事業(民間保育所)			会計	一般会計					
課等名		子育て支援課			事業種別	政策		開始	7	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実							
目的	対象(誰・何を)	・民間保育所及び入所児童(保護者)。			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・多様な勤務形態の保護者ニーズに対応するため、保育所を11時間以上開所させる。				民間保育所数(ヶ所)			15		
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合				民間保育所入所児童数(人)			1690		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	延長保育事業補助金の交付を受けている民間保育所数/民間保育所数(%)			100	100	100	100			
	成果指標	延長保育利用児童数/延長保育利用希望延べ保護者数(%)			100	100	100	100			
定性目標											
事業概要	<p>・保護者の利便性向上を図るため、保護者の要請に弾力的に対応できるよう保育所の自主的な取り組みにより保育時間の延長を行う国庫補助事業。</p> <p>・この事業は、11時間以上保育所を開所し、早朝や夕方の保育ニーズに対応する場合に必要となる担当保育士の人件費を補助する。</p> <p>・11時間以上開所していると基本分を補助し、さらに、30分、1時間、2時間と開所時間が増えるごとに補助の加算をするもの。</p> <p>・この事業により、様々な職種の保護者の保育ニーズに対応した子育て支援ができる。</p> <p>・なお、平成17年度から国庫直接補助であった長時間延長促進事業(2時間以上の延長保育を実施していて平均利用児童数が多い場合に該当)が延長保育促進事業と統合される。</p> <p>・平成17年度からは、新制度が創設され、次世代育成支援対策交付金の1事業となった。これにより、これまで市の負担が4分の1から2分の1に変更された。</p> <p>・平成22年度より保育対策促進事業に移行し、負担は国・県・市で1/3ずつに変更された。</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 11時間以上保育所を開所し、早朝や夕方の保育ニーズに対応した民間保育所の延長保育担当保育士の人件費を補助				11時間30分開所園			8園			
	2 11時間30分以降、開所時間と利用実績によって補助金額を加算				12時間開所園 13時間開所園			5園 2園			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		72,254	79,674	69,066	73,000	(県)延長保育促進事業補助金45,880千円(国1/3、県1/3)					
国庫支出金											
県支出金		48,301	53,028	45,880	48,666						
起債											
その他											
一般財源		23,953	26,646	23,186	24,334						
人件費計(千円)②		0		179							
正規職員所要時間				50							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		72,254	79,674	69,245	73,000						
事業内容・目標達成状況の振り返り	11時間以上の保育所の開所時間(全園対象)に対して、開所時間と利用実績に応じて補助金を交付することができた。										
改革改善の考え方	①問題点	延長保育のニーズは高く、民間保育所全園の延長保育の実施はワークライフバランスに寄与するものと考えられる。しかし、地区によっては延長保育の利用実績がなくなり、補助対象から外れる可能性もあるため、対策が必要になる。									
	②改革提案	早朝・延長の両時間に対応していることから特に常勤で一日の大半を就労している家庭にとって、利便性が高い。引き続き実績に基づいて補助を行う必要がある。									